

授業科目名	【Gカリキュラム】 - 【EFカリキュラム】 経営学概論 I	その他参照	開講年次	【G】 - 【EF】 1	単位数	【G】 - 【EF】 2
科目区分	専門科目：【G】 教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-) / 【EF】 教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-)					
担当形態	単独	【G】 教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目 【EF】 教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	経営学の基礎を学ぶ		担当者	野呂 一郎		
授業概要	<p>【概要】 経営とは何か、経営学の歴史、経営管理、経営戦略といった経営学の基礎を一通り講義するだけでなく、現代企業の新しい課題とチャレンジについてさまざまな形で取り上げる。経営学とは、人と組織を動かすことである。リーダーシップとモチベーションが極めて重要であり、教科書「産業心理と経営学」にはそのエッセンスが記されているので、熟読してほしい。教科書に沿った基本をなぞりながら、毎回最新トピックスを織り交ぜ、パワーポイントその他最新映像技術を駆使した、ダイナミックな講義を行う。なぜならば経営学とは「いかにわかりやすく伝えるか」こそが最大の課題だからだ。それを見て、感じるこそが経営学の最大の学習とも言える。期待していて欲しい。</p> <p>【到達目標】 経営学の基礎知識を習得する。</p>					
履修条件	特になし					
教科書・参考書	<p>【教科書】 「産業心理と経営学」北大路書房 野呂ほか著</p> <p>【参考書】 「ナウエコノミー -新・グローバル経済とは何か-」学文社 野呂一郎著</p>					
授業回数	授業内容					
1	ガイダンスー本講義のすすめ方ー		予習：教科書まえがき、目次を読んでもくる			
			復習：現在の企業の在り方と講義の内容を対比する			
2	経営学の歴史を学ぶ ① テイラーの科学的経営を中心に		予習：教科書3頁から12頁/予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
3	経営学の歴史を学ぶ②人間関係論と行動科学		予習：教科書4頁から12頁 / 予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
4	マズローの欲求5段階説		予習：教科書42頁から46頁/予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
5	経営管理とは何か		予習：配布資料を熟読のこと / 予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
6	経営戦略とは何か		予習：教科書85頁から95頁 / 予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
7	経営戦略の実例と検証 最新事例から		予習：教科書95頁から106頁 / 予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
8	リーダーシップとは何か		予習：教科書42頁から46頁 / 予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
9	リーダーシップの事例と検証 最新事例から		予習：教科書42頁から46頁 / 予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
10	モチベーションとは何か		予習：教科書41頁から51頁/予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
11	グローバル化と経営学		予習：教科書181頁から187頁 / 予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
12	グローバル化 最新事例の研究		予習：配布資料を熟読のこと / 予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
13	異文化経営とは何か		予習：教科書203頁から217頁 / 予告企業事例を考える(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
14	経営学の最新動向 AI時代の経営学とは		予習：配布資料の熟読、課題検討(計120分程度)。			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
15	総括と学習到達度の確認テスト		予習：教科書のこれまでの講義に対応するページを読み直すこと			
			復習：学説・事例の再理解/提示事例の再検討(計120分程度)			
評価方法	受講態度、確認テスト等の結果を総合考慮して成績を評価する。(受講態度30%・学習到達度の確認テスト70%) 確認テストは概念を適切に理解して、自分の言葉で表現しているかを主にチェックする。					
評価基準	上記授業内容について、これをよく理解し、適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。なお、確認テスト欠席など、評価不能の場合には「F」とする。					
その他	※G 別：法【-】 社【-】 情【-】 / EF 別：法【-】 社【-】 経【必修】					